シンプルクリーニング

汚れやにおいの原因を知ると、掃除の方法が見えてくる。

身近な汚れ・目的	働きと代表的な素材
01 **油・皮脂** 衣類・食器などの日常汚れ	**界面活性剤** 油を水になじませ、洗い流す 石けん・合成洗剤など
02 **軽い油汚れ・こげ付き** キッチンのこびりつきなど	**アルカリ・研磨** 軽い油汚れにはアルカリ こげ付きには研磨 重曹・セスキ炭酸ソーダなど
03 **水あか・アンモニア臭** 蛇口の白い水あか／尿由来のにおい	**酸性の働き** 水あかの除去・アンモニア臭の軽減 クエン酸など 石けん洗濯では、すすぎに 使われることがあります。
04 **色の付いたしみ** お茶・コーヒーの着色など	**酸化（漂白）** 着色汚れを漂白する 過炭酸ナトリウム（酸素系漂白剤） 石けん洗濯では、洗浄力を高めるために 洗うときに一緒に使われることがあります。
05 **除菌** 手が触れる場所など	**アルコール** 表面に付いた菌を減らす 消毒用エタノールなど

過炭酸ナトリウムと、洗浄助剤の「炭酸塩」は別の物質です。

ポイント

製品表示と、洗う物・機器の説明書を確認する。

重曹の粉は傷の原因に。
大理石には重曹・クエン酸を使わない。

塩素系は単独で使い、他の洗剤と混ぜたり
続けて使ったりしない。

アルコールは火気厳禁。

過炭酸ナトリウムを溶かした液は密閉しない。

詳しく見る